

環境保全に関する取り組み

TDKは、次世代に豊かな地球環境を残すため、環境保全への取り組みを新中期計画「Exciting108」の重要課題のひとつとして位置づけ、環境マネジメントシステムを構築し循環型社会に向けた活動を続けています。

1. ゼロエミッションへの取り組み

循環型社会の構築への基本的事項として、資源の有効活用が不可欠です。TDKでは、廃棄物を出さないクロードシステム工程の導入など、生産効率の改善によるゼロエミッションへの努力と、またやむを得ず発生した廃棄物の再使用と再資源化を進めています。

当期は、TDK Recording Media Europeが2001年8月にTDKグループ内で初めてゼロエミッションを達成しました。現在、廃棄物の再資源化率90%以上達成が10事業所、TDKグループ全体の再資源化率は、2002年3月期末現在、約78%を達成しています。今後も、国内外においてゼロエミッションを達成すべく、各事業所で廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底を図ってまいります。

2. 省エネルギー推進

TDKは、2010年までに生産高あたりのCO₂排出量を1990年比で25%以上削減する自主推進目標を掲げ、天然ガスによるコージェネレーションシステムの導入、工程改善、省エネ型焼成炉の開発などを進め、エネルギー効率の向上に努めています。

3. 環境負荷物質の低減と環境配慮型製品の開発

製品設計段階での製品アセスメントを実施し、環境へ

の影響を評価して、より環境負荷の少ない製品(環境配慮型製品)づくりを行っています。電子部品においては、製品の鉛フリー化および鉛フリーはんだに対応した電子部品の開発を進め、2002年4月をもって鉛フリーはんだに対応した電子部品の量産化技術を確立しました。また当期は、日本の先進企業訪問を目的とした、英国貿易産業省派遣の鉛フリーはんだ調査団の訪問を受け、TDKにおける鉛フリー化への取り組みを説明いたしました。

4. グリーン購入の促進

TDKでは部材・原料の調達にあたり、取引先の環境への取り組みへの姿勢と、有害物質含有量など製品の環境配慮を勘案した購入を進めています。

また、オフィス用品は「TDKグリーン購入ガイド(オフィス編)」を発行し、可能な限り環境配慮製品を選択するようにしています。

5. 環境会計の導入と情報開示

環境費用と環境負荷との関連を明確にし、より効果的な環境対策を推進する目的で、環境会計を導入し、2002年3月に全社展開を終了しました。全社の集計結果を環境報告書にて開示する予定です。

また、環境報告書やホームページ、広告などで社会への情報開示を行っております。

[循環型社会に向けたTDKの取り組み]

